

医療経済実態調査（医療機関等調査）における 青色申告決算書等の取扱いについて

1. 診療側委員からの回答率向上に向けた提案

（平成23年1月21日 中医協調査実施小委員会）

第18回医療経済実態調査（医療機関等調査）においては、回答率向上を図るため、調査票記入上の負担への配慮が必要と考えられる一般診療所及び歯科診療所については、例えば青色申告決算書等（別紙1）を活用した簡素化を検討してはどうか、との提案がなされた。

この提案に対し、事務局として会計専門家のご意見を参考としつつ、下記2. 論点を踏まえ、簡素化案を検討した（別紙3右欄外参照）。

なお、原則は、全ての項目に回答していただくこととし、個人立の一般診療所及び歯科診療所のうち、調査票の記入が困難な場合に限り、簡素化案により回答していただくこととしてはどうか。

【参考】医療経済実態調査の現状について

○診療報酬改定における基礎資料

平成23年10月末を目処に中医協に報告される予定であり、報告後、支払側、診療側、その他医療関係団体から調査結果に対する見解が提出され、次期改定に向けての議論の基礎資料として活用されている。

また、診療報酬改定において各個別項目の議論を行う際に、損益差額等が資料として活用されている。

○一般診療所に係る回答率の長期低落傾向（別紙2）

○青色申告決算書等との項目対比について（別紙3）

○過去、消費税の議論において、影響額を見積る際の基礎資料として活用

○第17回医療経済実態調査（医療機関等調査）においては、従来の単月調査に加え、直近の事業年（度）の損益状況、従業員の給料等についても調査することとされたため、調査対象施設となる医療機関等の記入負担等を考慮し、調査項目については、必要最小限にとどめ、今回においては、さらに単月調査及び直近の事業年（度）から単月調査及び直近の2事業年（度）の調査実施案としている。

2. 論点

（1）記入負担軽減による回答率向上と集計可能データ項目とのバランス

○これまで調査にご協力いただいた医療機関との公平性に配慮

○社会保険診療報酬にかかる収益など、診療報酬改定の検討のために必要なデータについては、できる限り記入をお願いする。

（2）診療報酬透明化の要請

○基本診療料に係るコスト調査の実行可能性が議論されているように、特に、費用項目については一定の簡素化を行うとしても、継続的に収集が必要なデータについては、できる限り記入をお願いする。

平成 年分所得税青色申告決算書 (一般用)

住所			フリガナ氏名			依頼税理士等	事務所所在地		
事業所在地			電話番号	(自宅) (事業所)			氏名(名称)		
業種名	屋号		加入団体				電話番号		

平成 年 月 日

損益計算書 (自 月 日 至 月 日)

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

控用 ○申告には、必ず提出用 を使ってください。

科 目		金 額 (円)		科 目		金 額 (円)		科 目		金 額 (円)		
売上原価	売上(収入)金額 (雑収入を含む) ①	<input type="text"/>	<input type="text"/>	経	消耗品費 ⑰	<input type="text"/>	<input type="text"/>	繰戻引当金・準備金等	貸倒引当金 ⑳	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
	期首商品(製品)高 ②	<input type="text"/>	<input type="text"/>		減価償却費 ⑱	<input type="text"/>	<input type="text"/>			計 ㉑	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	仕入金額(製品製造原価) ③	<input type="text"/>	<input type="text"/>		福利厚生費 ㉒	<input type="text"/>	<input type="text"/>		繰入額等	専従者給与 ㉓	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	小計(②+③) ④	<input type="text"/>	<input type="text"/>		給料賃金 ㉔	<input type="text"/>	<input type="text"/>			貸倒引当金 ㉕	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	期末商品(製品)高 ⑤	<input type="text"/>	<input type="text"/>		外注工賃 ㉖	<input type="text"/>	<input type="text"/>			計 ㉗	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	差引原価(④-⑤) ⑥	<input type="text"/>	<input type="text"/>		利子割引料 ㉘	<input type="text"/>	<input type="text"/>		所得金額	青色申告特別控除前の所得金額 (㉓+㉔-㉕) ㉘	<input type="text"/>	<input type="text"/>
差引金額(①-⑥) ⑦	<input type="text"/>	<input type="text"/>	地代家賃 ㉙	<input type="text"/>	<input type="text"/>	青色申告特別控除額 ㉙	<input type="text"/>	<input type="text"/>				
経費	租税公課 ⑧	<input type="text"/>	<input type="text"/>	貸倒金 ㉚	<input type="text"/>	<input type="text"/>	所得金額 (㉘-㉙) ㉚					
	荷造運賃 ⑨	<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>						
	水道光熱費 ⑩	<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>						
	旅費交通費 ⑪	<input type="text"/>	<input type="text"/>	雑費 ㉛	<input type="text"/>	<input type="text"/>						
	通信費 ⑫	<input type="text"/>	<input type="text"/>	計 ㉜	<input type="text"/>	<input type="text"/>						
	広告宣伝費 ⑬	<input type="text"/>	<input type="text"/>	差引金額(⑦-㉜) ㉜	<input type="text"/>	<input type="text"/>						
	接待交際費 ⑭	<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>						
	損害保険料 ⑮	<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>						
	修繕費 ⑯	<input type="text"/>	<input type="text"/>		<input type="text"/>	<input type="text"/>						

●青色申告特別控除については、「決算の手引き」の「青色申告特別控除」の項を読んでください。

整理番号	
氏名	

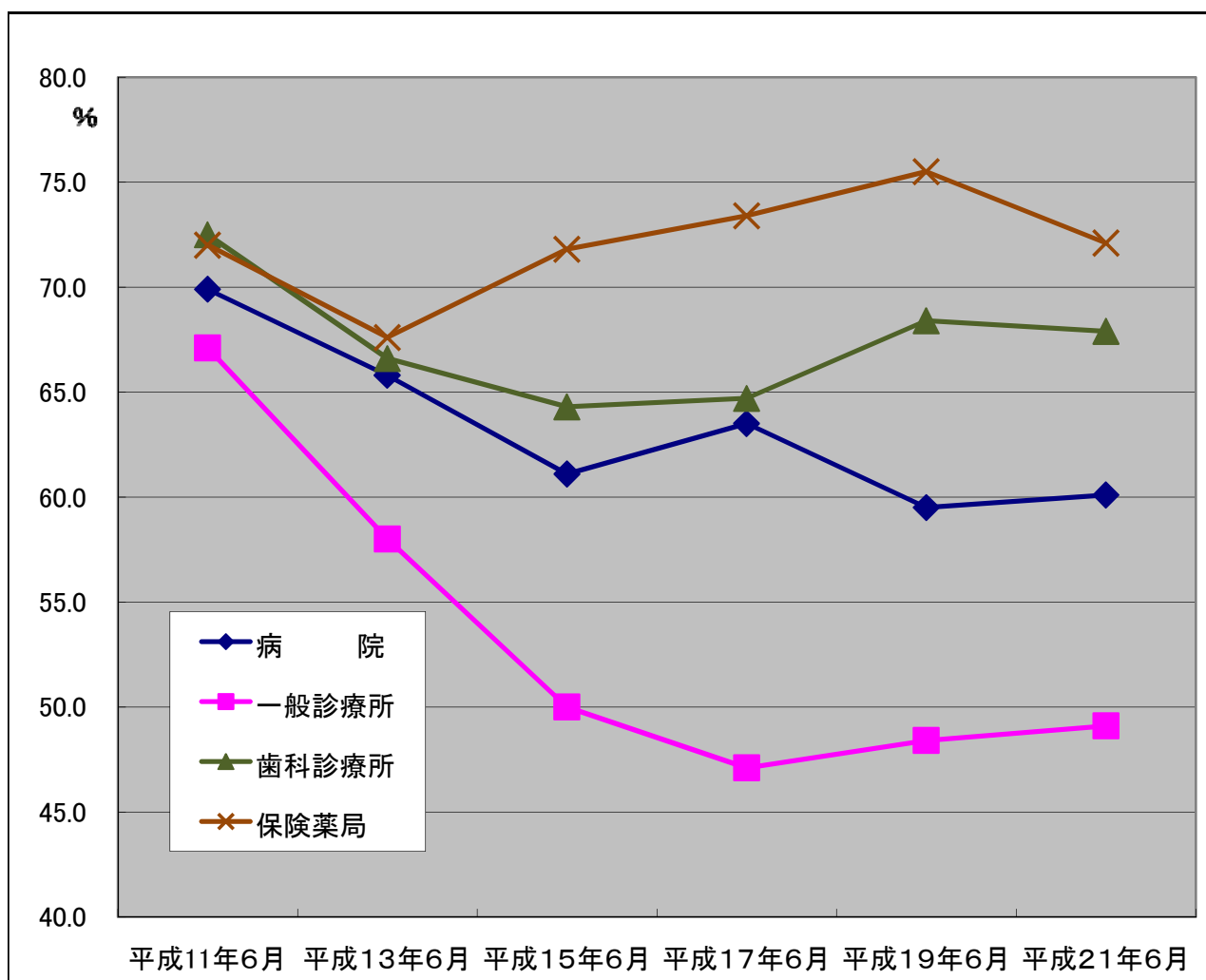
診療科目	
住所	

1. 収入金額の内訳					2. 自由診療割合の計算	
	診療件数	診療実日数	決定点数	収入金額		
				診療報酬当座 口払込額	診療報酬窓口 収入金額	
社会保険診療報酬	① 社会保険診療から報酬を受け 一般社会保険	件	日	点	円	<p>この計算は、租税特別措置法第26条の規定の適用に当たり、自由診療収入にかかる所得計算を行う際に、自由診療と社会保険診療のいずれにかかる経費であるか明らかではない経費を合理的に区分するために自由診療割合を算出するものです。</p> <p>自由診療割合は、次の(1)又は(2)のいずれかの方法により算出してください。</p> <p>(1) 診療実日数による割合</p> $\frac{\text{自由診療実日数(⑧)}}{\text{総診療実日数(⑨)}} \times 100 = \text{⑥} \%$ <p>(2) 収入による割合</p> $\frac{\text{自由診療収入(⑩)}}{\text{総診療収入(⑪)}} \times 100 \times \text{調整率} = \text{⑦} \%$
	老人保健法					
	生活保護法					
	結核予防法					
	精神保健福祉法					
	小計					
	② 国民健康保険					
	小計					
③ 介護報酬						
小計						
④ 計 (①+②+③)		①		②	③ 円	
自由診療の収入等	一般の自由診療	件	日		円	
	労働者災害補償保険診療					
	公害健康被害補償診療					
	自動車損害賠償責任保険診療					
	⑤ 計 (雑収入は下の欄に書きます。)		④		⑤	円
雑収入					円	

医療経済実態調査における回答率の推移

(単位:%)

	平成11年6月	平成13年6月	平成15年6月	平成17年6月	平成19年6月	平成21年6月
病 院	69.9	65.8	61.1	63.5	59.5	60.1
一般診療所	67.1	58.0	50.0	47.1	48.4	49.1
歯科診療所	72.5	66.6	64.3	64.7	68.4	67.9
保険薬局	72.0	67.6	71.8	73.4	75.5	72.1

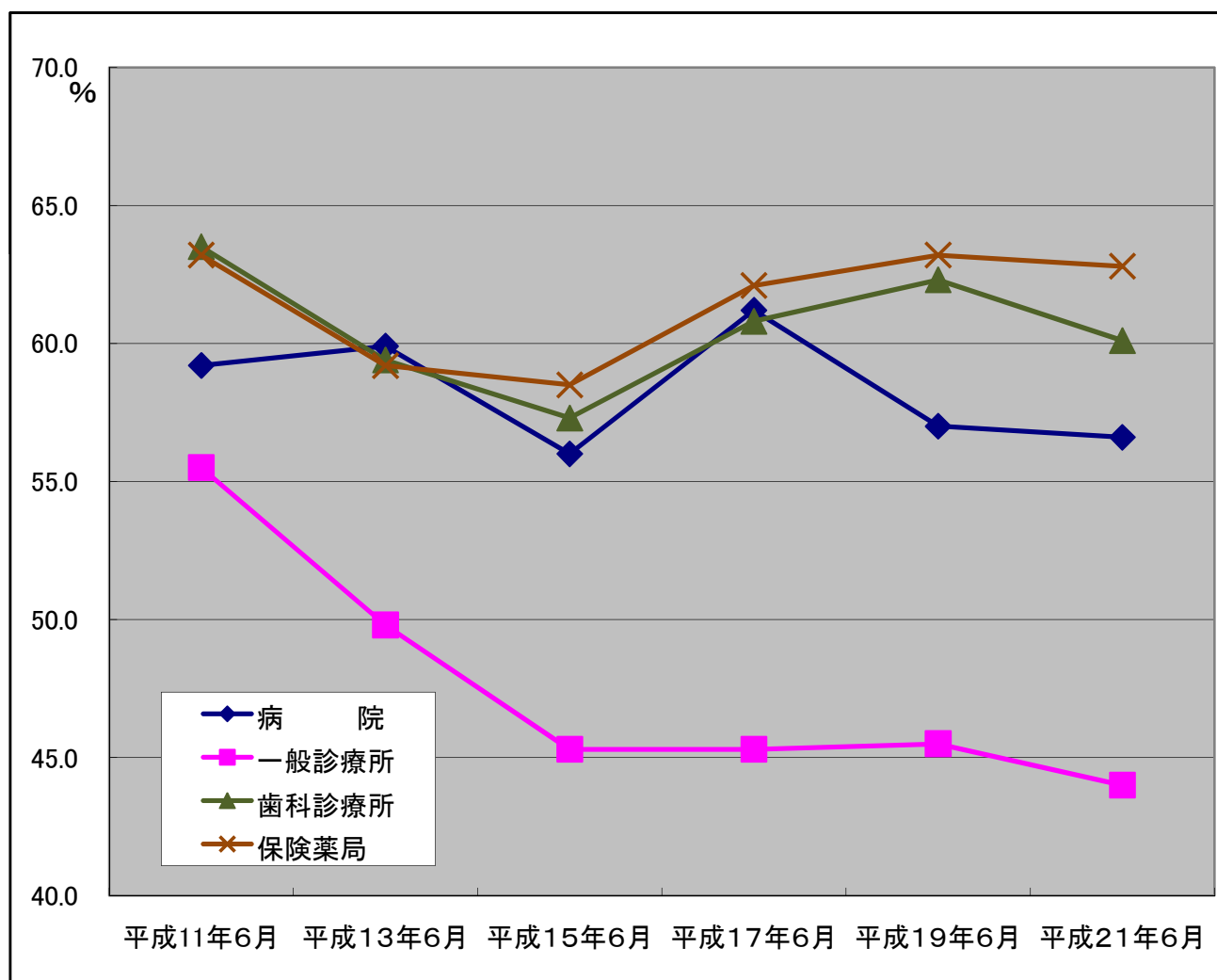


(注) 病院の抽出率は1/5であるが、特定機能病院、歯科大学病院及び子供病院については抽出率が1/1であるため集計から除外している。

医療経済実態調査における有効回答率の推移

(単位: %)

	平成11年6月	平成13年6月	平成15年6月	平成17年6月	平成19年6月	平成21年6月
病 院	59.2	59.9	56.0	61.2	57.0	56.6
一般診療所	55.5	49.8	45.3	45.3	45.5	44.0
歯科診療所	63.5	59.4	57.3	60.8	62.3	60.1
保険薬局	63.2	59.2	58.5	62.1	63.2	62.8



(注) 病院の抽出率は1/5であるが、特定機能病院、歯科大学病院及び子供病院については抽出率が1/1であるため集計から除外している。

医療経済実態調査と所得税青色申告決算書との項目対比表

所得税青色申告決算書		医療経済実態調査(医療機関等調査)	
損益計算書		I 医業収益	
		科 目	
		1 入院診療収益	(1)保険診療収益(患者負担含む)
			(2)公害等診療収益 省略可
			(3)その他の診療収益 省略可
		2 外来診療収益	(1)保険診療収益(患者負担含む)
			(2)公害等診療収益 省略可
			(3)その他の診療収益 省略可
		3 その他の医業収益	省略可
		医業収益合計	
		II 介護収益	
		科 目	
		1 施設サービス収益	省略可
		2 居宅サービス収益	省略可
		(うち)短期入所療養介護分	省略可
		3 その他の介護収益	省略可
		介護収益合計	
		III 医業・介護費用	
		科 目	
		1 給与費	要記入
		2 医薬品費	要記入
		3 材料費	要記入
		(うち)給食用材料費	省略可
		4 委託費	要記入
		5 減価償却費	転記
		(うち)建物減価償却費	省略可
		(うち)医療機器減価償却費	省略可
		6 その他の医業・介護費用	要記入
		(うち)土地賃借料	要記入
		(うち)支払利息	要記入
		医業・介護費用合計	

付表《医師及び歯科医師用》の収入金額の内訳の数字又は税務申告用の帳簿を参考に振り分ける。

売上(収入)金額
(雑収入を含む)①

減価償却費⑩

